

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和7（2025）年度第2回みよし市環境審議会		
開催日時	令和7（2025）年12月4日（木） 午後2時30分から午後3時15分まで		
開催場所	市役所庁舎3階 研修室1、2		
出席者	みよし市環境審議会 （会長）柴本信之 （副会長）功刀由紀子 （委員）加藤哲司、竹村勉、近藤東、山北淳、長濱弥生、青田ルリ子、 鈴木陽介、野々山清 みよし市 （事務局）原田市民経済部長、鈴木生活環境課長、 内田副主幹、成田主任主査、橋本主任主査 （コンサルタント）株式会社東和テクノロジー 門脇 （傍聴者）なし		
次回開催予定日	令和8（2026）年3月頃（詳細は未定）		
問合せ先	市民経済部生活環境課 担当者名 内田、成田 電話番号 0561-32-8018（直通） FAX番号 0561-76-5702 メールアドレス kankyo@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
審議経過	<p>【鈴木生活環境課長】 定刻となりましたので、令和7年度第2回みよし市環境審議会を始めさせていただきます。</p> <p>始めに、恐れ入りますが、礼の交換をさせていただきたいと存じますので、ご起立の方をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、一同礼。</p> <p>【全員】 お願いします。</p> <p>【鈴木生活環境課長】 ありがとうございました。ご着席ください。</p> <p>本日は、また改めてお忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>審議会に先立ちまして、みよし市市民経済部長の原田より挨拶をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>【原田部長】 皆さん、こんにちは。</p> <p>【全員】 こんにちは。</p> <p>【原田部長】 みよし市市民経済部長の原田です。</p>		

本日は、公私ともに大変お忙しい中、令和7年度第2回みよし市環境審議会にご出席いただき、深く感謝申し上げます。

前回（9月17日開催）の環境審議会では、「第2次みよし市環境基本計画、みよし市生物多様性戦略の中間見直し、みよし市一般廃棄物処理基本計画の策定についてご説明させていただき、アンケート調査の実施についてご審議いただきました。

本日もご審議していただく内容につきましては、「第2次みよし市環境基本計画に係る取組指標の進捗状況調査の結果及び中間見直しへの対応案」になります。この後、事務局から説明がありますが、委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見をいただき、実りある会議になりますようお願い申し上げます。私からのごあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【鈴木生活環境課長】

ここで、部長につきましては、他の公務のため、退席させていただきますので、よろしくお願いいたします。

審議に入る前に、会議成立のご報告をさせていただきます。本日は全員出席ということですので、会議の方は、みよし市環境基本条例第30条第2項の規定により成立しているものとして報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

続きまして、審議の方に入らせていただきたいと思います。進行につきましては会長をお願いしたいと存じます。また、会長からご挨拶をいただきたいと思います。会長、よろしくお願いいたします。

【柴本会長】

皆さん、こんにちは。

【全員】

こんにちは。

【柴本会長】

柴本でございます。本日は大変お忙しい中、またお寒い中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の第2回環境審議会では、第2次みよし市環境基本計画に関する中間見直し等、色々な議題がございます。また、皆さんにご意見等ご協力をいただきますので、よろしくお願いいたします。

それではこれで、私の挨拶とさせていただきます。

【鈴木生活環境課長】

ありがとうございました。

それではこれからの議事の取り回しにつきましては、みよし市環境基本条例第28条第2項の規定により、柴本会長をお願いしたいと思います。会長よろしくお願いいたします。

【柴本会長】

ご指名いただきましたので、進行させていただきます。

皆さんには円滑な会議の運営にご協力のほど、改めてお願い申し上げます。

それでは、次第に従いまして議事を進めてまいります。

議題「（1）みよし市環境審議会のスケジュールと審議内容について」、事務局よりご説明をお願いいたします。

【事務局（内田副主幹）】

生活環境課の内田です。よろしくお願いいたします。

今回も前回に引き続き、今回の計画策定に関する事務を受託している

東和テクノロジーの門脇さんが出席しておりますので、よろしくお願いいたします。

【コンサルタント（株式会社東和テクノロジー門脇）】

よろしくお願いいたします。

【事務局（内田副主幹）】

それでは、議題（１）について説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

議題（１）「みよし市審議会のスケジュールと審議内容について」ご説明させていただきます。前回のおさらいにもなりますので、簡潔に説明させていただきます。資料の１ページをご覧ください。

「第２次みよし市環境基本計画」と「みよし市生物多様性戦略」は、令和３年度から令和１２年度までの１０年間を計画期間としており、中間見直しの時期を迎えております。

また、「みよし市ごみ処理基本計画」は、平成２４年度から令和８年度までの１５年間を計画期間としていますが、計画期間満了により計画改定時期を迎えております。一方、生活排水処理については、「生活排水対策推進計画」【平成２８年度～令和１２年度】に基づき実施しているところであります。

一般廃棄物処理基本計画につきましては、廃棄物処理及び清掃に関する法律第６条の規定により義務づけられている一般廃棄物の処理に関する基本的な事項について定めるもので、ごみ処理と生活排水処理を含みます。今回の一般廃棄物処理基本計画は、現行を改訂する「ごみ処理基本計画」と「生活排水対策推進計画」を見直した「生活排水処理基本計画」を併せて策定することとなります。なお、一般廃棄物処理基本計画を策定する際には、国の法令、国・県の指針や動向、本市の関連計画を踏まえたものとして、本市が加入している尾三衛生組合の計画をはじめ、関連する自治体の計画などとの整合を図ってまいりたいと思っております。

今回中間見直しと策定する計画は赤文字で示しておりますが、計画の位置づけは、この図に示すとおりとなっております。

策定期間は、令和７年度から令和８年度までの２年間で行ってまいります。

資料の２ページ目をご覧ください。資料の２ページ目には、本審議会のスケジュール案を示しています。上段の令和７年度の「第２回目の環境審議会」の黒丸の位置が１１月ではなく１２月になりますので、訂正をさせていただきます。

第１回環境審議会では、アンケート調査について確認していただきました。アンケート対象者の抽出内容について、ご指摘をいただきまして、事後報告になってしまいますが、抽出内容につきましては、男女比、年代比、居住地域の比率を考慮した上で無作為に１，０００人を抽出して、１０月２８日に発送させていただきました。現在、集計中ですので、集計結果につきましては、次の環境審議会でご報告させていただきますが、現時点での回収率は５９．４％となっております。

その後の環境審議会についてですが、本日は議題２で「第２次みよし市環境基本計画に係る取組指標の進捗状況調査の結果及び中間見直しへの対応案」を審議していただきます。

第３回の環境審議会では、アンケート調査の結果報告などの説明をさせていただいたのち、各計画の中間見直し及び策定に向けての基礎調査

を行い、中間報告までが令和7年度の内容となっております。

令和8年度につきましては、各計画の素案を作成し、6月に開催を予定しております環境審議会でご説明をさせていただきます。委員の皆様からご意見をいただきまして、皆様のご意見を踏まえたうえで、10月に開催を予定しております環境審議会でご説明させていただきます、またご意見等をいただきたいと思いますっております。修正をしたのちに、10月頃にパブリックコメントを実施し、各計画の最終案を作成して、3月の環境審議会において、最終案のご説明をさせていただきます、答申を行ったうえで、計画の策定というかたちになります。

資料の3ページをご覧ください。

資料の3ページ目には、本審議会の審議内容を示しております。

本日以降の会議について、審議する内容を説明させていただきます。

本日は、先ほども申し上げましたが、第2次みよし市環境基本計画に係る取組指標の進捗状況調査の結果及び中間見直しへの対応案を審議させていただきます。

第3回目の環境審議会では、現行のごみ処理基本計画の進捗状況を確認したうえで、次期計画への対応案などを審議させていただきます。

第4回の環境審議会では、各計画の素案について、内容を審議させていただきます。

第5回の環境審議会では、第4回で審議した内容を踏まえて、各計画の内容を審議して、計画案を策定し、その後パブリックコメントを実施いたします。

第6回目の環境審議会では、パブリックコメントを踏まえて各計画について審議いただき、各計画の策定を行っていききたいと思います。

議題(1)については以上の説明となります。

【柴本会長】

ありがとうございました。

ただいまのご説明につきまして、ご質問・ご意見等ございましたら、随時発言をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

ご意見が無いようでございますので、続きまして、議題(2)「第2次みよし市環境基本計画に係る取組指標の進捗状況調査の結果及び中間見直しへの対応案について」事務局よりご説明をお願いいたします。

【事務局(成田)】

生活環境課の成田と申します。よろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

それでは、議題(2)「第2次みよし市環境基本計画に係る取組指標の進捗状況調査の結果及び中間見直しへの対応案について」ご説明させていただきます。

本日開催する環境審議会に先立ちまして、第2次みよし市環境基本計画に係る取組指標の進捗状況につきまして、関係課への調査を実施いたしました。まずは、その結果について報告させていただきます。

先ほど内田から説明がありましてとおり、令和3年3月に「第2次みよし市環境基本計画」を策定いたしました。

「第2次みよし市環境基本計画」の策定に当たりましては、当時の環境審議会へ諮問を行っております。

本計画では、将来像として、「循環・共生する 持続可能なずっと住みたいまち」を掲げておりまして、市民の皆さまや事業所の方々など一

	<p>緒に築いていくことを目標としています。</p> <p>この計画では施策を5つの分野に分類しております。</p> <p>資料の4ページの2番のところに書いております。</p> <p>1つ目が、創エネ・省エネなどの技術革新やビジネス創出により経済が活性化し、また、太陽光発電などの導入により無理のない低炭素型の暮らしが定着している、脱炭素のまちづくり。</p> <p>2つ目が、多様な自然と風土を適切に保全するとともに、豊かな生態系ネットワークがまちの中に息づいている、自然共生のまちづくり。</p> <p>3つ目が、廃棄物減量化がさらに進み、また、資源の有効利用が実現し、さらに、ごみ出し・収集での高齢者対策、有害物質対策、災害廃棄物対策などの仕組みが構築されている、循環型のまちづくり。</p> <p>4つ目が、生活環境が汚染されることなく健全に維持され、起こりうる気候変動や災害に備えたまちづくりによって、市民の健康と安全が守られている、安全・安心のまちづくり。</p> <p>5つ目が、市民一人一人が環境に対する関心や自覚を高め、環境に配慮した選択ができていて、協働による環境行動のまちづくり。</p> <p>以上、5つの施策分野に分類しまして、SDGsの関連を持たせて施策を定め、また、それぞれに指標を設定して計画を推進することとしております。</p> <p>この5つの分野における数値目標につきまして、現在の進捗状況を報告させていただくと共に、現段階で達成見込みが低い項目を中心に、課題や自己分析の説明をさせていただき、今回、ご意見やご助言をいただけたら幸いです。</p> <p>資料の6ページから「第2次みよし市環境基本計画 取組指標進捗状況調査表」というもののご説明をさせていただきます。</p> <p>一番上の行の「施策」、「主な取組」、「取組内容及び概要」につきましては、「第2次みよし市環境基本計画」から、記載された該当ページの内容を抜粋しております。</p> <p>抜粋する内容につきましては、同一分野又は分野をまたいで同一の取組指標を設定しているものもございます。現状設定している取組指標につきましては、指標の定義をした上で、計画策定時の令和元年度を原則としまして「現状値」とし、右のほうに少し離れたところにあります、令和7年度の「中間目標値」、令和12年度の「目標値」を設定しております。</p> <p>また、本日、進捗状況としてお伝えいたします「進捗値」につきましては令和6年度の実績値となっております。(2)のほうなのですが、進捗値の右にあります「判定」というところですが、こちらは原則として「現状値から中間目標に向けて均等に増加・減少をさせた場合、機械的に「○」「×」が付くようになっております。判定が「×」の場合でありましても、中間目標又は現計画の目標に向けて計画的に事業が進んでいると担当課が判断した場合は、隣の「調査担当課による判断」の項目に「○」を記載しております。</p> <p>本日、内容をご説明したいところは「現段階で達成見込みが低い項目」というところ、調査担当課におきましても判断で「×」であったものを指しておりますので、こちらの共に「×」であった項目につきまして、進捗状況、「×」の理由及び今後の予定を説明させていただきたいと思っております。</p> <p>まず、資料6ページの下から3行目の「市内公共交通全体の利用者」</p>
--	---

というところをご覧ください。こちらは市内公共交通の年間利用者数となっております。数値で言いますと、令和6年度の実績が「2,955」という数値になっておりまして、こちらは今年度の目標値「3,170」に対して少し低い数値となっております。理由といたしましては、コロナ禍を経て、オンラインをはじめとする在宅ワークの増加等、新しい生活様式の確立等により公共交通機関の利用者というものが全体では一時的に減少をいたしました。ただ、ここ3年ほどは以前の数値に戻りつつあるというのが現状となっております。ですので、目標値まで達成するかはまだ少し見込みが難しいのですが、今後もこの社会情勢の変化等を見ながらこの事業を進めようと考えております。

続きまして、7ページ、下から6行目になるのですが「遊休農地の面積」というところがございます。「遊休農地の面積」の「遊休農地の有効活用」というところをご確認下さい。「遊休農地の有効活用」につきましては、農家の高齢化によりまして、農地を保全管理していくことが難しくなっている状況がございます。今後の対策といたしましては、本年、令和7年3月に農水担当が地域計画を策定しておりまして、こちらで市内の担い手へ遊休農地をはじめとする農地の集約化を図ること、また農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地利用最適化活動により、遊休農地の解消に努めていく予定でおります。

続きまして、8ページは全て「○」になっておりますので、9ページの中段の「リサイクル率」をご覧ください。

「リサイクル率」は、令和6年度は「14.8%」という数値が出ていますのでけれども、こちらにつきまして、ごみと資源の分別の徹底及びリサイクル率向上に向けて進めているところではあるのですが、また、令和5年度からプラスチック資源の分別を始めまして、メグリアにあります「リサイクルステーションみよし」も建替えを行いまして利便性の向上を図っております。また、ホームページ等で「4R」の推進等を進めておりまして、リサイクルの推進・分別の徹底をしているところではあります。なかなか、率が上がってこないというところは現状にありまして、理由の1つとしては、年々ごみの量が減っているというところがあるところと、後ほどご説明させていただきたいのですが、リサイクル品を民間で回収している部分もありまして、その辺の数値が計上されておらず、民間で段ボールなどを回収しているところがありますので、そういうところも原因となっていると分析しております。

内容の方進めさせていただきます。

同ページ下から2行目の「産地施設などの店舗数」をご覧ください。

こちらも遊休農地同様、高齢化によりまして直売施設を閉めているというところが店舗数減少の理由と考えられています。この取り組み内容、元々は地産地消の推進のために農政部門だけにとどまらず、市全体で地産地消を推進し、啓発活動を行っていく予定をしております。

続きまして、10ページは「○」が付いておりますので、11ページの方、お願いいたします。11ページ下から3行目の「防災情報メール登録者」というところをご覧ください。防災情報メール登録者数は、現状値を設定した後に登録者の重複等整理を実施したことで登録者数が減少いたしました。また、メール登録への啓発も、当時コロナ禍等様々なイベント自粛に伴い実施できていなかったという現状がございます。また、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、昨年度から市の公式LINEというものを導入いたしまして、こちらでも防災情報を流されてい

ることがあり、内容が重複している部分がありまして、なかなか、新規登録者の大幅な増加というものを見込めない状況ではありますが、今後も啓発内容を差別化するなど検討して、登録者の増加に努めてまいります。

続きまして、12ページ一番上の行にあります「環境問題に各主体が協働で取り組むべきと感じる市民の割合」をご覧ください。こちらは数値としては、達成できていない状況なのですが、令和6年度の行政評価市民アンケートというものを企画政策課が行っているのですが、こちらにおきまして「環境美化の項目」という項目があるのですが、「環境美化の項目」につきましては、「重要」と「やや重要」を合わせると73.7%と高い数値の結果になっておりまして、また「地球環境保全への関心度」というところも69.5%、「循環型社会」は76.8%と、環境に関する項目はいずれも高い結果となっております。しかしながら、今回の項目にあります「市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり」という項目に関しましては、「重要」と「やや重要」を合わせても46.8%というかたちになっておりまして、市民の「協働によるまちづくり」を重要とする認識というものが、かなり薄れていると考えられています。今後は、やはり「協働によるまちづくり」の重要性を感じていただけるような、「市民との協働事業」というものの充実を図ってまいりたいと思っております。

以上の調査結果を踏まえまして、調査票の一番右側に、「中間評価」及び「中間見直しでの対応（案）」といたしまして、事務局の案というものを提示させていただいております。

例えば、このまま順調にしているものは「このまま継続する。」とか、既に中間の時点で最終目標まで達成しているものについては、数値の見直しを考えていくというような、そういうかたちで記載させていただいております。

それでは、資料の4ページにお戻りください。

4ページの「5 考察」について、説明させていただきます。新型コロナウイルス感染症の影響後に、生活様式が変更になったこともありまして、各分野の施策において、数値に影響がある部分が見受けられました。しかし、全体的には成果の向上がありました。今回説明しました「現段階で達成見込みが低い項目」につきましては、昨年度にご報告した時点では9項目ございましたが、今回は6項目と改善しております。

今回の調査結果を踏まえまして、今後も目標達成が可能となる実効的な改善策を検討し、中間目標及び最終的な目標値の達成を目指してまいりたいと思っております。

それから、先ほど少しお話しいたしました、5ページの「6 中間見直しへの対応案について」ですが、こちらに記載しておりますように、（1）から（4）まで案を記載しておりますが、これは事務局で考えている案の一つとしてご提示させていただいたもので、もちろん決定事項ではございません。

案の説明ですが、中間目標を達成しているものは、基本的には令和12年度の目標値に向けて指標を継続していこうと考えております。

現在すでに令和12年度の目標値を達成しているものや、具体的な取り組み評価方法がなく、評価をしていないという項目もございます。また、指標が重複している項目もございますので、表自体が見にくい部分があると事務局の方も感じておりますので、今後担当課と協議をしながら

ら、今回いただいたアンケートの結果等も考慮しまして、また次回以降、検討したものを本審議会に諮りながら取組指標の表記を考えていきたいと考えております。

議題（２）についての説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

【柴本会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明について、委員の皆様から事前にご質問・ご意見を頂戴いたしております。事務局より回答をお願いいたします。

【事務局（成田）】

野々山委員から２点ご質問をいただいております。

１つ目の質問内容につきましては、「資料６ページの燃料電池システム普及への補助台数について、目標達成のための施策はありますか。また補助金増額についてはありますか。」というご質問です。

まず、こちらの燃料システムをはじめとするエコエネルギー関係の補助金につきましては、市の方で補助はしているのですが、こちらの目標達成や普及に向けまして、先ほどお話しいたしました市の公式 LINE の周知、あと毎年４月の広報誌やホームページで周知をしています。今後もそちらの媒体を使いながら周知をしていきたいと思っております。また、補助金の増額等につきましては、お話しいたしました「エコエネルギー促進事業補助金」というものが、令和８年度、来年度末で一区切りの補助金になっておりまして、令和９年度に向けて来年度見直しをする予定ですので、来年度検討していこうと考えております。

２つ目の質問内容につきましては、先ほどお話しいたしました「リサイクル率」につきましては、資料でいきますと９ページになります。「最近民間のリサイクルステーションが増加しているが、市のリサイクル率に算入されているのか。また今後の見通しはどうなっているのか。」というご質問をいただいております。

そちらにつきましては、今、現在市内に１８カ所の民間のリサイクルステーションを市の方で把握しております。その内、一部の民間のリサイクルステーションの回収量について、市では把握しきれていないところがございます、報告の義務等そういったものがないものですから、全てを把握していないということもありまして、民間回収分というのは市のリサイクル率には、今、算入していない状況でございます。

今後の見通しにつきましては、民間のリサイクルステーションが増えてくることによって、市の運営しているリサイクルステーションの回収量が相対的に減少していくことも考えられますので、リサイクル率を目標値にすること自体も含めて、今後の目標値を検討していきたいと考えております。以上となります。

【柴本会長】

ありがとうございました。

今の回答に対して、ご意見・ご質問等はございませんでしょうか。

【野々山委員】

事前に質問させていただいたのですが、燃料電池については、昨今、市の方でＦＣＶ（燃料電池）を使って給食の配送ですとか、今は燃料についても補助が出ると聞いておりますので、ＰＲの限界もあるとは思いますが、そういう実行性の高い補助金も全てではないとは思いますが、そういう啓発をしていけばいいと思います。

あと、リサイクル率の話なのですが、古着を捨てたかったものですから、最近、近くにできた民間のリサイクルステーションを利用しまして、市の方のリサイクルステーションを使わなくなってきた、今後もそういうところも利用したいなと思って、そうした時に、リサイクル率の中に含まれなければ、リサイクル率の向上というのにも取組まれる中で、まずは現状の数値の把握がしっかりしていないと、なかなか難しいのではないかなと思って質問しました。

【柴本会長】

ありがとうございました。

その他にご意見・ご質問等はございませんでしょうか。

【加藤委員】

質問で、リサイクル率についてです。民間のリサイクルステーションができると、例えば、みよし市で出たリサイクルの品物が、例えば、みよし市以外から持ってきていけば、みよし市のリサイクル率ではないですね。

【事務局（内田副主幹）】

おっしゃる通りだと思います。市外から持ち込まれたリサイクル品はみよし市のリサイクル率ではないです。

【加藤委員】

例えば、有料のアルミ缶は、みよし市で出たものが他でリサイクルされている場合、完全に資源の持ち出しで、みよし市としてはあまりいい方向ではないかなと思います。逆に別の地区からみよし市に持ってくるということはあるえないと思うのです。それも止めた方がいいとは思いますが、どうでしょうか。

【事務局（成田）】

そうですね。1つの考え方としまして、数値に入れるかどうかものですけども、その回収拠点での回収量というものを報告いただくようなかたちにすれば、みよし市で回収したものということで、キロ数や数量が出てくると思いますので、そちらに計上していけば、結果としてそれが市内か市外でリサイクルにはなるとは思うのですけれども、数値としてはみよし市の分ということで計上できるのではということの一つは考えているところです。

【加藤委員】

そうですね。こちらで把握できるのであればいいのですけれども、今だったら、民間が増えれば増えるほど、リサイクル率が落ちてくるということになるので、目標を設定できないと思うのです。

【事務局（成田）】

はい、ありがとうございます。

【山北委員】

土日にリサイクルステーション行くと、駐車場待ちぐらいの勢いで、市民の方がリサイクルに関する意識がすごく高まっているなということだと思います。今日、お話を聞いてみて「なるほど。」と思ったのですが、時間が限られているものですから、夜に段ボールだとか、古新聞等を民間のところに持って行かれる方も多いなというふうに思います。そこで、目指しているところは、市民の方がどれだけリサイクルに向いていくかということであるならば、数値でもいいですし、市民の方のアンケートなどで、そのリサイクルに関する意識やそういう民間のところに行くという方法もあるのかなというふうには思うのです。ただ、それを

どうやって調査するのかというのは、その辺は自分もまだわかりませんが、そのようなことも思いました。

【事務局（成田）】

ありがとうございます。

【柴本会長】

その他にご意見・ご質問等はございませんでしょうか。

【功刀副会長】

今のご質問に関連して、「協働による環境行動のまちづくり」ということの中で、本当にアンケートを実施した時に、「環境問題というのは重要だな。」という認識が以前は重要だったのですが、そこに「協働」という言葉、「じゃあみんなで一緒にやりましょうね。」という言葉をつけたら、途端に自分の温度が下がってきたわけです。ですから、なんか非常に申し訳ない言い方ですけども、市民の方の本音と建前が出てきています。本音としては、環境問題というのはやはり非常に重要な問題で、しかも現状の世の中には重要だと言わざるを得ないような社会意識があるわけです。「じゃあ一緒にやりましょう。」「あなたも働いてもらいますよ。」と言われた途端に、「ちょっとそこはね。」と後ずさりをしていくという、そのところをどう考えていくかが大事だと思います。ですので、アンケート調査をいくらやっても、出てくる結果はいつも同じではないかと思っています。ただ、今のお話のように実際に市民の皆さんがリサイクルステーションにたくさんリサイクル品を持って行っているのであれば、そこを可視化できるような数値に持って行かなければいけないと思いますので、できるだけ民間リサイクルステーションにどれだけ回収されているかという数値等をどれだけ市が把握できるかという方向性というのは「やりますよ。」というのではなく実際やっていただきたいと思えますし、それをやらないと、やはりリサイクル率を出しても意味と言いますか、その数値が全く何を表しているのかという見えない数値をずっと追いかけているような状態になってしまうと思うので、色々な方法で現状把握をするように考えてみていいのではないかと思います。いかがでしょうか。

【事務局（成田）】

先ほど言いました１８カ所の内、１２カ所を把握できている状況でして、義務化するかは別としまして、おっしゃる通りきちんと通知をして確認できる様な体制は整えていきたいと思っております。

実際、ご家庭で協働と言いますか意識があるのだけでも行動に移せないというところで、家庭の立場に立つような、例えば、ハードルを低くし、お得にできるような地球環境や、先ほどの燃料電池もありましたが補助金だけではなくて、身近なところからも周知して、関心を高めていきたいとは思っています。具体的には、電気をＬＥＤ化にすることや、エアコンの設定温度を下げるといったことで二酸化炭素の削減ができますし、ご家庭にも家計にいいとかですね。あと食品ロスとの関係とかで、あの余分なものを買わないことで購入のお金もできますし、あのごみも削減できる等、そういったところのＰＲをしていこうかなと考えているところです。

そういうところから、この協働と言いますか、家庭の意識づけや実際に行動できるような方向へ持っていきたいなとは思っております。以上です。

【功刀副会長】

やはり、「みんなが動かないと変わらないよ。」という意識は重要だと思いますので、そこのところを色々な方法で、アピールしていただきたいと思います。

【事務局（成田）】

はい、ありがとうございます。

【柴本会長】

その他にご意見・ご質問等はございませんでしょうか。

【山北委員】

今日、私は学校の代表として来させていただいておりますが、学校教育の中での環境学習というところが重要になってくるのかなというふうには思います。

今すぐ変わらないけれども、この先変えていくというところについて、12ページの1番上のここの数字見た時に、自分が感じている数と比べてずいぶん数が少ないなというイメージがあります。というのは、市役所全体ですごく色々なことをやっていただき、この数年のところでいきますと、例えば、ごみ収集の場を子どもたちに見させたいということをお願いしたところ、市役所の方から回収業者に連絡を取っていただいて、「何時に来るよ。」と業者の方にも伝えていただいて、危なくない範囲でパッカー車に子どもたちを実際に入れさせていただく経験をさせていただいたこともありました。

それから、排水の汚水を浄化する施設が学校のすぐそばにあり、中に機械があって通常は閉められているのですが、わざわざ市の職員が来てくださり、施設を開けていただき、詳しく説明をしていただきました。「家庭からきたこの汚水がこの施設を通り抜けて川に流れていく時に、こんなにきれいな水になっているのだよ。」というのを見せていただきました。

また、境川の自然生物の研究がしたいということで、自然環境を守る会の方に繋いでいただいて、当日、市役所の方も来ていただきました。

あと、今年度は無かったのですが、例えば、使用しなくなったプラスチックの文房具を回収して、その資源回収というのをやっていただいたり、緑のカーテン事業も行ったり、ずっと続いてきています。

そう考えると、私の学校だけでこれだけあるのですから、他も実施していると、もっと数字が大きいなと思います。もしかすると、これは生活環境課の方に上がってきている数字であり、市役所の色々な部署がまだ上げていない部分があったりするのかなと思いました。先ほどの食品ロスのところも給食センターの管理栄養士の方に来ていただいて、食品ロスの指導をしていただいているので、色々挙げていくとかなりの数になると思います。実際は市役所からもっと色々な取組をやっていただいているのにという思いで、数字を見て申し訳ない気持ちになりました。以上です。

【事務局（成田）】

はい、ありがとうございます。

【柴本会長】

その他ご意見等ございませんでしょうか。

ご意見も出尽くしたようでございます。本日の議事につきましては、審議が全て終了となりました。

つきましては、事務局にお返ししますので、よろしくお願いします。

【鈴木生活環境課長】

	<p>柴本会長、ありがとうございました。</p> <p>事務局からは、今日いただいた貴重なご意見を参考に今後の次回に向けて、課題整理等を順次行っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>その他の日程といたしまして、次回の審議会の開催につきましては、年が明けて、お忙しい時期だとは思いますが、3月頃に予定させていただいております。また改めて日程調整のご連絡させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、以上を持ちまして令和7年度第2回みよし市環境審議会を終了とさせていただきたいと思います。最後に礼の交換をさせていただきますので、恐れ入りますが、皆様、もう一度ご起立の方お願いいたします。</p> <p>一同、礼</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>【一同】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>【鈴木生活環境課長】</p> <p>本日はお忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p>
--	--